
国内旅客運送約款

CONDITIONS OF CARRIAGE – DOMESTIC PASSENGERS AND BAGGAGE–

2019年10月1日から有効
Effective October 1, 2019

全日本空輸株式会社
ANAウイングス株式会社

All Nippon Airways Co., Ltd.
ANA WINGS Co., Ltd

【第1章 総則】

第1条 定義

この運送約款において

国内航空運送とは、有償であるか無償であるかを問わず、会社が航空機により行う運送で、運送契約による出発地及び到着地その他すべての着陸地が日本国内の地点にある運送をいいます。

会社とは、全日本空輸株式会社及びANAウイングス株式会社をいいます。

会社の事業所とは、会社の事務所（市内営業所及び空港事務所）、会社の指定した総代理店及び代理店の営業所並びにインターネット上の会社のウェブページをいいます。

航空券とは、この運送約款に基づいて会社の国内航空路線上の旅客運送のために会社の事業所において発行する会社の電子データベース上に記録される形式の電子証票（以下「電子航空券」という。）又は紙片の証票をいいます。

認証コードとは、電子航空券を有することを証することができる確認番号、ANAマイレージクラブ会員番号、決済に使用されたクレジットカードその他の会社が別に定めるものをいいます。

航空引換証とは、会社の事業所において発行する証票で、本証に記名されている人に対し航空券を交換発行するためのものをいいます。

途中降機とは、出発地から目的地の間の地点における旅客の予定する旅行中断で会社が前もって承諾したものをいいます。

手荷物とは、他に特別の規定がない限り旅客の所持する物で、受託手荷物及び持込手荷物をいいます。

受託手荷物とは、会社が引渡しを受け、かつ、これに対し手荷物合符（手荷物引換証及び手荷物添付用片）を発行した手荷物をいいます。

持込手荷物とは、受託手荷物以外の手荷物で会社が機内への持込みを認めたものをいいます。

手荷物合符とは、受託手荷物の識別のためにのみ会社が発行する証票で、その一部は、手荷物添付用片として受託手荷物の個々の物にとりつけ、他の部分は引換証として旅客に渡すものをいいます。

超過手荷物切符とは、会社が定める無料手荷物許容量を超過した手荷物の運送のために発行する証票をいいます。

第2条 約款の適用

- この運送約款は、会社の旅客及び手荷物の国内航空運送並びにこれに伴う業務に適用されるものとします。
- 旅客が航空機に搭乗する日において有効な運送約款及びこれに基づいて定められた規定は、当該旅客の運送に適用されるものとします。
- この運送約款の一部条項について特約をした場合は、当該条項の定めにかかわらず、その特約事項を適用します。

第3条 約款等の変更

会社の運送約款及びこれに基づいて定められた規定は、予告なしに変更されることがあります。

第4条 公示

会社の事業所には、この運送約款とともに旅客運賃、超過手荷物料金及び諸料金並びに運航時刻表その他必要な事項を公示します。

第5条 共同引受

1. 会社は、共同して国内航空運送を引き受け、会社の指定する会社のいずれかがその運送を行います。
2. 会社は、そのいずれかが行った運送につき、賠償責任を負う場合、連帯して賠償の責任を負います。

第6条 会社のいずれかと旅客との間の取扱い等の効力

1. この運送約款に基づき、会社のいずれかと旅客との間で行われる、日時、便、区間、経路又は目的地の変更、航空券・航空引換証の有効期間の延長、予約済みの搭乗便の取消し、搭乗とりやめの募集、他の輸送手段の手配、搭乗又は手荷物の搭載の拒絶、運送人の変更その他の取扱い、並びに、運賃、料金、手数料、協力金その他の金員の請求、受領、支払い又は払戻し等は、会社すべてと旅客との間で効力を生じます。
2. 旅客による会社のいずれかに対する請求、通知、航空券又は航空引換証の提示、認証コードの提示又は申告、払戻しの申入れ等は、会社すべてに対してなされたものとしします。

第7条 旅客の同意

旅客は、この運送約款及び同約款に基づいて定められた規定を承認し、かつ、これに同意したものとします。

第8条 準拠法及び裁判管轄

1. この運送約款の規定は、日本法に従い解釈され、この運送約款に定めのない事項については、日本法を適用します。
2. この運送約款に基づく運送に関する争いについては、損害賠償請求権者の何人であるかを問わず、又は損害賠償請求の法的根拠の如何を問わず、日本の裁判所を合意管轄とし、その訴訟手続きは日本法によります。

第9条 係員の指示

旅客は、搭乗、降機その他空港及び航空機内における行動並びに手荷物の積卸及び搭載の場所等について、すべて会社係員の指示に従わなければなりません。

【第2章 旅客運送】

【第1節 航空券】

第10条 航空券の発行と効力

1. 会社は、会社の事業所において、別に定める適用運賃及び料金を申し受けて、電子航空券の作成又は紙片の航空券の発行、航空引換証の発行（以下「航空券の発行」といいます。）を行います。その際に旅客は氏名、年齢、性別及び会社からの連絡に使用することが可能な電話番号その他の連絡先を申し出なければなりません。
2. 航空券又は航空引換証は旅客本人のみが使用できるものとし、第三者に譲渡することはできません。
3. 航空券は、電子データベース上に記録された事項（紙片の航空券の場合は、券面に記載された事項。以下「予約事項」といいます。）のとおり使用しなければ無効になります。
4. 会社が航空券の有効性を確認するには、認証コードの提示若しくは申告又は紙片の航空券若しくは航空引換証の提示（以下「認証コード又は航空券の提示等」といいます。）が必要となります。
5. 運送を受けようとする場合は、旅客は、会社規則に従って正当に発行され、かつ、現に搭乗しようとする航空便に有効な旅客本人の認証コード又は航空券の提示等、又は、会社が指定する証票の提示をしなければなりません。これを行わない場合、会社は当該旅客の搭乗を拒絶することがあります。

第11条 有効期間

1. 航空券で予約事項に搭乗予定便が含まれるものは、当該搭乗予定便に限り有効とします。
2. 航空券で予約事項に搭乗予定便が含まれないものの有効期間は、航空券の発行の日及びその翌日から起算して1年間とします。ただし、会社が特定の旅客運賃を適用する航空券について、別段の定めをした場合は、この限りではありません。
3. 航空引換証に対しても前2項を準用しますが、予約事項に搭乗予定便が含まれるものについては、当該搭乗予定日までに航空券と交換することとし、予約事項に搭乗予定便が含まれないものについては、航空引換証の発行の日の翌日から起算して90日以内に航空券と交換しなければなりません。
4. 航空券は、旅客が有効期間の満了する日までに搭乗しなければ、無効となります。

第12条 有効期間の延長

1. 旅客が病気その他の事由で旅行不可能となった場合、又は会社が予約した座席を提供できない場合若しくは座席を予約できない場合は、航空券又は航空引換証の有効期間を延長することができます。ただし、当初の航空券又は航空引換証の有効期間満了日の翌日から起算して30日以内に限り、延長をすることができます。
2. 前項によって有効期間を延長した場合は、この旅客の同伴者が所持する航空券又は航空引換証についても同様に期間の延長をすることができます。

第13条 座席の予約

1. 航空機に搭乗するには、座席の予約を必要とします。
2. 航空券の発行の後の座席予約申込みの際は、認証コード又は航空券の提示等をし、所要事項の会社のデータベース上への記録（紙片の航空券の場合は、券面への所要事項の記載をいいます。）を受けなければなりません。

3. 座席予約の取消し又は変更の申出の際は、認証コード又は航空券の提示等を必要とします。ただし予約済の旅客を他の者へ変更することはできません。
4. 前2項の定めにかかわらず、別に定める会社の事業所では、認証コード又は航空券の提示等がない場合でも、座席予約の申込み又は取消し若しくは変更の申出を受け付けることがあります。
5. 前項による座席予約は、旅客が、会社の定める航空券購入期限までに認証コード又は航空券の提示等があるまでは、確定されたものではありません。旅客が、会社の定める航空券購入期限までに認証コード又は航空券の提示等をしない場合、会社は予告なしにいつでも当該座席予約及びその予約に引き続きなされている座席予約を取り消すことがあります。
6. 座席予約申込みは、会社の事業所において搭乗希望日の355日前より受け付けます。ただし、会社が特定の旅客運賃を支払う旅客につき別段の定めをした場合は、この限りではありません。
7. 会社は第22条第2項が適用される場合には、この予約に引き続きなされている座席予約を取り消すことがあります。
8. 会社は、一旅客に対して二つ以上の予約がされており、かつ、次のいずれかの場合には、会社の判断により、旅客の予約の全部又は一部を取り消すことができます。
 - (1) 搭乗区間が同一で、搭乗便出発予定時刻が同一又は近接している場合
 - (2) その他旅客が予約のすべてに搭乗すると合理的と考えられないと会社が判断した場合。

第14条 座席指定

旅客は、機内の特定の座席を予め指定できる場合があります。ただし、会社は、事前の通告なしに、機材変更その他の運航上やむを得ない理由でこれを変更することがあります。

第15条 集合時刻

1. 旅客が航空機に搭乗する際には、その搭乗に必要な手続のため、会社が指定する時刻までに指定する場所に到着しなければなりません。
2. 前項の会社が指定する時刻に遅れた旅客に対し、会社はその搭乗を拒絶することがあります。
3. 会社は、第1項に基づき会社が指定する時刻に遅れた旅客のために航空機の出発を遅延させることはできません。

第16条 運送の拒否及び制限

1. 会社は、次の各号に該当すると認めた場合には、当該旅客の搭乗を拒絶し、又は寄航地空港で降機させることができます。その場合において、その旅客の手荷物についても同様の取扱いとします。この場合、第22条第1項の規定による払戻しを行い、取消手数料は一切申し受けません。

なお、本項(3)号(ホ)又は(ト)の場合においては、上記の措置に加えて、

当該行為の継続を防止するため必要と認める措置をとることができます。その措置には、当該行為者を拘束することを含みます。

- (1) 運航の安全のために必要な場合
- (2) 法令又は官公署の要求に従うために必要な場合
- (3) 旅客の行為、年令又は精神的若しくは身体的状態が次のいずれかに該当する場合
 - (イ) 会社の特別な取扱いを必要とする場合

- (ロ) 重傷病者又は8歳未満の小児で付添人のない場合
 - (ハ) 次に掲げるものを携帯する場合
武器（職務上携帯するものを除きます。）、火薬、爆発物、他に腐蝕を及ぼすような物品、引火しやすい物品、航空機、旅客若しくは搭載物に迷惑若しくは危険を与える物品又は航空機による運送に不適當な物品若しくは動物
 - (ニ) 他の旅客に不快感を与え、又は迷惑を及ぼすおそれのある場合
 - (ホ) 当該旅客自身若しくは他の人又は航空機若しくは物品に危害を及ぼすおそれのある行為を行う場合
 - (ヘ) 第29条第4項又は第5項に該当する場合
 - (ト) 会社係員の業務の遂行を妨げ、又はその指示に従わない場合
 - (チ) 会社の許可なく、機内で、携帯電話機、携帯ラジオ、電子ゲーム等電子機器を使用する場合
 - (リ) 機内で喫煙する場合
2. 会社は、非常脱出時における援助者の確保のため、次の各号に該当すると認められた場合には、当該旅客の非常口座席への着席を拒絶し、他の座席へ変更することができます。この場合、会社の定める特別料金等を適用しているときは、收受した特別料金等の払戻しを行い、取消手数料は、一切申し受けません。
- (1) 満15歳未満の者
 - (2) 身体上、健康上又はその他の理由によって、非常脱出時における援助に支障がある者または援助することにより、旅客自身の健康に支障をきたす者
 - (3) 会社の示す脱出手順または会社係員の指示を理解できない者
 - (4) 脱出援助を実施することに同意しない者

第17条 紙片の航空券の紛失

1. 紙片の航空券を紛失した場合は、あらためて当該紛失航空券に係る搭乗区間の航空券の購入を必要とします。
2. 前項の場合で、紛失した旨の届出が第23条に定める払戻期間満了の日までに会社の事業所（インターネット上の会社のウェブページを除きます。以下同じ。）になされた場合には、払戻有効期間（払戻期間満了の日の翌日から起算して3ヶ月をいいます。以下同じ。）満了の日までに当該紛失航空券の提示がなされたとき、又は、当該紛失航空券の払戻有効期間満了後の調査において第11条に定める有効期間内において未使用であり、払戻期間満了の日までに払い戻しがなかったことを会社が確認したときに限り、次により払い戻しを行います。なお、払い戻す場合には、第22条第1項に定める払戻手数料を申し受けます。
- (1) 代りの航空券を購入していないときは、紛失航空券に対する收受運賃及び料金を払い戻します。ただし、第22条第2項に定める取消手数料が適用される場合は、所定の払戻手数料に加え、当該取消手数料を申し受けます。
 - (2) 代りの航空券を購入しているときはその代りの航空券に対する收受運賃及び料金を払い戻します。ただし、会社が別段の定めをした場合は、この限りではありません。
 - (3) 前記第1号又は第2号の場合であって、当該旅行を取り消したときは、第22条に準じて払い戻します。

3. 紛失航空引換証に対しても前2項を準用します。
4. 前2項の場合で、払戻有効期間満了後の調査の結果、払い戻しを行うときは、所定の払戻手数料及び取消手数料に加え、航空券又は航空引換証1枚につき2,060円、料金券1枚につき1,030円の調査手数料を申し受けます。

【第2節 運賃及び料金】

第18条 旅客運賃及び料金

1. 旅客運賃及び料金、その適用にあたっての条件等は、運賃及び料金の種類ごとに会社が別に定める運賃料金表によります。
2. 旅客運賃は、出発地空港から目的地空港までの運送に対する運賃とします。
3. 旅客運賃及び料金には、消費税（地方消費税を含みます。）が含まれています。

第19条 適用運賃及び料金

1. 適用運賃及び料金は、会社規則に別段の定めのある場合を除き、航空券の発行日において、旅客が航空機に搭乗する日に有効な旅客運賃及び料金とします。
2. 收受運賃又は料金が適用運賃又は料金と異なる場合は、その差額をそれぞれの場合に応じて払い戻し又は徴収します。ただし、会社が特定の旅客運賃又は料金を支払う旅客につき別段の定めをした場合は、この限りではありません。

第20条 幼児の無償運送

会社は、12歳以上の旅客に同伴された座席を使用しない3歳未満の旅客（以下「幼児」といいます。）については、同伴者1人に対し1人に限り無償にてその運送を引き受けます。

第21条 旅客の都合による変更

旅客の都合による、航空券の予約事項又は航空引換証の券面に記載された事項（以下「航空券又は航空引換証の予約事項」といいます。）のうち、日時、便、区間、経路又は目的地の変更については、旅客運賃及び料金の種類ごとに会社が別に定める適用条件によるものとします。旅客の都合による変更が可能な旅客運賃及び料金については、搭乗予定便出発予定時刻までの営業時間内に会社の事業所にその変更申出がなされた場合に限り、次により取計らいます。ただし、座席等に余裕がない場合は、この限りではありません。なお、変更申出に際しては、会社の事業所に当該認証コード又は航空券の提示等を行わなければなりません。

- (1) 変更による全区間の適用運賃及び料金が收受運賃及び料金より大であるときは、その差額を申し受け、收受運賃及び料金より小であるときは、その差額を払い戻します。
- (2) 当該変更による適用運賃及び料金は、会社規則に別段の定めのある場合を除き、最初に購入された航空券の発行日において、旅客が変更後の航空機に搭乗する日に有効であった旅客運賃及び料金とします。
- (3) 変更された航空券の有効期間は、最初に購入された航空券の発行の日に適用される有効期間とします。
- (4) 変更のために行う予約済搭乗便の取消しについては、第22条第2項に定める取消手数料を申し受

けません。

- (5) 当該変更により料金が適用されるにいたった場合、又は料金が適用されなくなった場合、それぞれの場合に応じて、料金を徴収又は払戻しいたします。

第22条 旅客の都合による払戻しと払戻手数料及び取消手数料

1. 航空券又は航空引換証を旅客の都合により払い戻す場合には、旅行区間の全部について払い戻すときには收受運賃及び料金全額を、一部について払い戻すときは收受運賃及び料金より搭乗区間運賃及び料金を差し引いた差額を払い戻します。

なお、この場合、会社規則に別段の定めのある場合を除き、航空券又は航空引換証の1旅行区間につき440円の払戻手数料を申し受けます。

2. 前項の定めに従い座席の予約がなされている航空券又は航空引換証を払い戻す場合には、旅客運賃及び料金の種類ごとに会社が別に定める運賃料金表により取消手数料を申し受けます。
3. 前2項の場合において、收受運賃及び料金が払戻手数料及び取消手数料の合計より小であるときは、收受運賃及び料金を限度として申し受けます。

第23条 払戻期間

旅客運賃又は料金の払戻しは、当該航空券又は航空引換証と交換にその有効期間満了後の翌日から起算して30日以内に限り行います。

第24条 会社の都合による取消変更

1. 会社は、旅客の都合以外の事由のうち第42条第5項に定める事由を除いた事由（以下「会社の都合」といいます。）によって、運送契約の全部又は一部の履行ができなくなった場合は、旅客の選択により、次の（1）、（2）又は（3）のいずれかの措置を講じます。

- (1) 会社が選択する次のいずれかによって当該航空券又は航空引換証の予約事項である最初の目的地までの旅客及び手荷物の運送をすること。

- (イ) 座席に余裕のある会社の航空機
- (ロ) 座席に余裕のある他の会社の航空機
- (ハ) 他の輸送機関

この場合において、便、経路等の変更による旅客運賃及び料金が、当該区間の適用運賃及び料金の払戻額より大であっても、これを追徴せず、また、小であるときはこれを払い戻します。ただし、会社が特定の航空券又は航空引換証について別段の定めをした場合は、払い戻しません。

- (2) 払い戻しをすること。この場合、旅行開始前においては、收受運賃及び料金の全額を払い戻し、旅行開始後においては、その取消地点から航空券又は航空引換証の予約事項である目的地（途中降機予定地点を含みます。）までの会社が別に定める適用運賃及び料金を払い戻します。

- (3) 当該未搭乗区間について有効期間の延長を行うこと。

2. 会社の都合によって、予約便への搭乗手続を求める旅客（会社の指定した時刻までに、会社の空港事務所において、有効な座席予約がなされている認証コード又は航空券の提示等をして搭乗手続を求めた者に限ります。）の数が、予約便の座席定数よりも多くなってしまったため、一部の旅客に対し座席の提供ができなくなる場合には、会社は、有効な座席予約を有する旅客であって、会社の協力依頼

に応じて自主的に当該予約便への搭乗をとりやめる者の募集を行います。この場合において、会社は、当該依頼に応じて搭乗をとりやめる旅客に対しては、本条第1項による取扱いに加えて、会社の定める一定額の協力金の支払等を行います。

第25条 会社及び旅客の都合以外の事由による取消変更

会社は、第42条第5項に定める事由によって、運送契約の全部又は一部の履行ができなくなった場合は、旅客の選択により、次の(1)、(2)又は(3)のいずれかの措置を講じます。

(1) 旅行開始前においては、座席に余裕のある会社の航空機によって、当該航空券又は航空引換証の予約事項である最初の目的地まで旅客及び手荷物の運送をすること。

また、旅行開始後において航空券又は航空引換証の予約事項である目的地を変更した場合は、会社が選択する次のいずれかによって当該航空券又は航空引換証の予約事項である最初の目的地までの旅客及び手荷物の運送の便を図ります。

- (イ) 座席に余裕のある会社の航空機
- (ロ) 座席に余裕のある他の会社の航空機
- (ハ) 他の輸送機関

この場合において、便、経路等の変更による旅客運賃及び料金が、当該区間の適用運賃及び料金の払戻額より大であっても、これを追徴せず、また、小であるときはこれを払い戻します。

(2) 払い戻しをすること。この場合、旅行開始前においては、收受運賃及び料金の全額を払い戻し、旅行開始後においては、その取消地点から航空券又は航空引換証の予約事項である目的地（途中降機予定地点を含む。）までの会社が別に定める運賃及び料金を払い戻します。

(3) 当該未搭乗区間について有効期間の延長を行うこと。

第26条 不正搭乗

次の場合は不正搭乗として、当該旅客に適用される不正搭乗区間の運賃及び料金と、搭乗時の当該区間に設定された最も高額な旅客運賃及び料金の2倍相当額を合わせて申し受けます。ただし、その搭乗区間を判定できない場合は、その搭乗機の出発地からとします。

- (1) 会社係員の求めにもかかわらず、認証コード又は航空券の提示等がなされないとき又は会社係員の承諾なく航空券又は航空引換証の予約事項である区間以遠に乗越したとき
- (2) 故意に無効航空券で搭乗したとき
- (3) 不正の申告により適用運賃の特別取扱いを受けて搭乗したとき

【第3節 手荷物】

第27条 手荷物の受託及び持込み

1. 旅客が会社の指定した時刻までに、会社の空港事務所において、有効な認証コード又は航空券の提示等をし、手荷物を提出したときは、この運送約款の定めるところにより、受託手荷物として受け付け、又は持込手荷物として認めます。
2. 前項のほか、会社は、会社の路線の到着地空港において他の運送人により運送される接続便（会社が他の運送人との間で手荷物運送に関する協定を締結しているものに限り、）への乗換えを行う旅客からの申出があったときは、当該旅客が、会社の指定した時刻までに、会社の空港事務所において、会社の路線の運送につき発行された有効な認証コードまたは航空券の提示等とあわせて、当該他の運送人による接続便の運送につき発行された有効な認証コード又は航空券の提示等をし、手荷物を提出した場合には、当該他の運送人の行う接続便の運送についての手荷物の受託についてもあわせて行います。

この場合、会社は、旅客の同意の下に、当該他の運送人の代理人として、当該他の運送人の運送約款の定めるところにより、手荷物を受託することとし、また、会社の路線の到着地空港においては、旅客に対して受託手荷物の引渡しを行いません。

3. 会社は、受託手荷物に対しては、手荷物合符を発行します。

第28条 受託手荷物の搭載

受託手荷物は、その旅客の搭乗する航空機で運送します。ただし、搭載量の関係その他やむを得ない事由があるときは、当該手荷物の搭載可能な航空機または他の輸送機関によって運送することがあります。

第29条 保安検査

1. 旅客は、会社による保安検査を受けなければなりません。ただし、会社が特に不要と認めた場合は、この限りではありません。
2. 会社は、航空保安上（航空機の不法な奪取、管理又は破壊の行為の防止を含みます。）その他の事由により、旅客又は第三者の立会を求めて、開披点検その他の方法により手荷物の検査を行います。また、会社は、旅客又は第三者の立会がない場合でも、第33条に定める手荷物の禁止制限品目に該当する物品を旅客が所持し又は旅客の手荷物に入っていないかを検査することができます。
3. 会社は、航空保安上（航空機の不法な奪取、管理又は破壊の行為の防止を含みます。）その他の事由により、旅客の着衣又は着具の上からの接触又は金属探知機器等の使用により旅客が装着等する物品の検査を行います。
4. 会社は、旅客が第2項の検査に応じない場合には、当該手荷物の搭載を拒絶します。
5. 会社は、旅客が第3項の検査に応じない場合には、当該旅客の搭乗を拒絶します。
6. 会社は、第2項又は第3項の検査の結果として第33条に定める手荷物の禁止制限品目に該当する物品が発見された場合には、当該物品の持込み若しくは搭載を拒絶し、又は処分をすることがあります。

第30条 受託手荷物の受取り及び引渡し

1. 旅客は、到着地において、手荷物が受取り可能な状態になり次第、手荷物合符（手荷物引換証及び手荷物添付用片）の番号を照合し、その手荷物を受け取らなければなりません。

2. 会社は、手荷物の受託時に発行された手荷物合符(手荷物引換証及び手荷物添付用片)の所持人に対してのみ、当該手荷物の引渡を行います。その際、旅客は、会社に手荷物引換証を提出します。
3. 前2項の定めに従い手荷物の引渡しを行う場合には、会社は、手荷物合符の持参人が当該手荷物の正当な受取人であるか否かを確認する義務を負いません。会社が正当な権利者であるか否かを確認しなかったことにより生ずる損害に対し、会社は賠償の責に任じません。
4. 手荷物は、手荷物合符に記載されている目的地においてのみ引き渡します。ただし、特にその手荷物の委託者の要求があったときは、状況の許す場合に限り、出発地空港又は寄航地空港において引き渡します。

第31条 手荷物引換証の紛失

手荷物引換証を紛失した場合には、会社が当該受託手荷物の引渡請求人を正当な受取人であると認め、かつ、会社がその引渡請求人に当該手荷物を引き渡した結果会社が被るおそれのある一切の損失を補償する旨の保証を当該引渡請求人から得た場合に限り、別に定める手続きにより引き渡します。

第32条 引渡不能手荷物の処分

手荷物到着の翌日から起算して7日間を経過しても引き取りがない場合には、会社は当該手荷物を適宜処分することがあります。この場合における損害及び費用はすべて旅客の負担とします。

第33条 手荷物の禁止制限品目

1. 次に掲げるものは、受託手荷物及び持込手荷物として認めません。ただし、会社が承認した場合は、この限りではありません。
 - (1) 航空機、人員又は搭載物に危険又は迷惑を及ぼすおそれがあるもの
 - (2) 銃砲刀剣類等及び爆発物その他の発火又は引火しやすいもの
 - (3) 腐蝕性薬品及び適当な容器に入れていない液体
 - (4) 動物
 - (5) 遺体
 - (6) 法令又は官公署の要求により航空機への搭載又は移動を禁止されたもの
 - (7) 個数、重量又は寸法について会社が別に定める限度を超えるもの
 - (8) 荷造り又は包装が不完全なもの
 - (9) 変質、消耗又は破損しやすいもの
 - (10) その他会社が手荷物としての運送に不相当と判断するもの
2. 次に掲げるものは、持込手荷物として認めません。
 - (1) 刃物類
 - (2) 銃砲刀剣類等類似品及び爆発物類似品（ピストル型ライター、手榴弾型ライター等）
 - (3) その他会社が凶器となり得ると判断するもの（バット、ゴルフクラブ、アイススケート靴等）

第34条 高価品

白金、金その他の貴金属、貨幣、銀行券、有価証券、印紙類、宝石類、美術品、骨董品その他高価品は、受託手荷物として認めません。

第35条 受託手荷物

1. 会社は、各旅客につき、以下の範囲内において、手荷物を受託します。
 - (1) 総重量100キログラム以内
 - (2) 1個あたりの重量32キログラム以内
 - (3) 1個あたりの3辺の長さの和が203cm以内で、かつ当該手荷物を搭載する航空機の貨物室に収納可能なもの。
2. 前項(2)の重量及び(3)の寸法を超える場合であっても、事前連絡がなされ、会社が承認した場合には、前項(1)の重量にすべて収まる範囲において、当該手荷物の受託を認めます。ただし、第37条に定める無料手荷物許容量を超える場合には、会社が別に定める超過手荷物料金を申し受けません。

第36条 持込手荷物

1. 会社は、各旅客につき、以下の範囲内において、手荷物の機内持込みを認めます。
 - (1) 個数1個
 - (2) 重量10キログラム以内
 - (3) 3辺の長さの和が115cm以内(保有座席数が100席未満の機材の場合は100cm以内)で、かつ客室内の収納棚又は旅客の前の座席下に収納可能なもの
 - (4) ただし、会社が別段の定めをした場合は、前3号の限りではありません。
2. 前項に加え、以下の条件に相当するものを身回品として機内持込みを認めます。
 - (1) 旅客が携帯し保管する、会社規則に定められた身の回りの物品であって、前項(3)の寸法にすべて収まるもの。複数携帯は可としますが、前項の持込手荷物及びこれらの身回品の合計重量が10キログラムを超えることはできません。
 - (2) 次に掲げるものは、前項(2)の重量及び(3)の寸法の範囲を超える場合であっても、機内への持込みを認めます。
 - (イ) コート類1着
 - (ロ) 傘又はステッキ1本
 - (ハ) 身体障がい旅客を補助するために、当該旅客が自身で使用する松葉杖並びに義手及び義足類
 - (ニ) 身体障がい旅客を補助するために、当該旅客が同伴する盲導犬、介助犬及び聴導犬
3. 会社は、本条第1項及び第2項に定めたもの以外の物については、機内持込手荷物としての運送を引き受けません。ただし、貨物室での運送が適当でない物(壊れやすい楽器など)については、事前に連絡がなされ、会社が承認している場合に限り、客室内での運送を引き受けます。このような手荷物を運送するに際しては、会社は、会社が別に定める料金を申し受けます。
4. 本条第1項及び第2項の定めにかかわらず、会社が客室内に安全に収納できないと判断した手荷物を、客室内に持ち込むことはできません。

第37条 無料手荷物許容量

1. 各旅客の無料手荷物許容量は、会社規則に別段の定めのある場合を除き、次のとおりとします。
 - (1) プレミアムクラスの運賃を支払った旅客の無料受託手荷物許容量は40キログラムとします。
 - (2) 普通席の運賃を支払った旅客の無料受託手荷物許容量は20キログラムとします。
 - (3) 上記(1)及び(2)に加え、第36条第1項及び第2項に定めたものについては、無料とします。
2. 座席を使用しない幼児については、前項に規定する無料手荷物許容量の適用は受けず、当該幼児の手荷物は、同伴する旅客の手荷物とみなします。
3. 無料受託手荷物許容量を超過した重量の受託手荷物に対しては、会社が別に定める超過手荷物料金を申し受けます。
4. 同一の航空便で旅行する2人以上の旅客が、同一地点まで同時に会社到手荷物の運送を委託する場合には、会社は、申出により、重量について、各人の無料受託手荷物許容量を合算し、当該同行旅客全員を一体としてその許容量とすることができます。
5. 次に掲げるものは、無料手荷物許容量に含めず、無料で受託します。
 - (1) 幼児及び小児旅客が自身で使用する折りたたみ式ベビーカー、携帯用ゆりかご及びチャイルドシート
 - (2) 身体障がい旅客を補助するために、当該旅客が自身で使用する車椅子等
 - (3) 身体障がい旅客を補助するために、当該旅客が同伴する盲導犬、介助犬及び聴導犬

第38条 愛玩動物

1. 旅客に同伴される愛玩動物について、会社は、受託手荷物として運送を引き受けます。ここでいう愛玩動物とは、飼い馴らされた小犬、猫、小鳥等をいいます。
2. 前項に述べた愛玩動物については、第37条にいう無料手荷物許容量の適用を受けず、旅客は会社が別に定める料金を支払わなければなりません。

第39条 超過手荷物料金及び愛玩動物に適用される料金の払戻し

1. 航空機出発時刻20分前までに当該手荷物の運送を取り消したときは、当該取消運送区間に対する收受超過手荷物料金及び愛玩動物に適用される料金の全額を払い戻します。
2. 前項の時刻を経過したとき、又は旅客の都合により運送の途中でその運送を取り止めたときは、その前途未搭載区間に対する超過手荷物料金及び愛玩動物に適用される料金は払い戻しません。ただし、会社の都合により運送契約の全部又は一部が履行できなくなった場合は、この限りではありません。

第40条 従価料金

手荷物及び旅客が装着する物品の価額の合計が15万円を超える場合には、旅客はその価額を申告することができます。この場合には、会社は、従価料金として、申告価額の15万円を超える部分について1万円毎に10円を申し受けます。

第41条 従価料金の払戻し

1. 旅客の都合により旅行区間の全部を取り消す場合には、当該取消運送区間に対する收受従価料金の全額を払い戻します。
2. 旅客の都合により、旅行区間の一部を取り消す場合には、従価料金は払い戻しません。ただし、会社

の都合により運送契約の全部又はその一部が履行できなくなった場合は、この限りではありません。

【第4節 責任】

第42条 会社の責任

1. 会社は、旅客の死亡又は負傷その他の身体の障害の場合に発生する損害については、その損害の原因となった事故又は事件が航空機内で生じ又は乗降のための作業中に生じたものであるときは、賠償の責に任じます。
2. 会社は、受託手荷物その他の会社が保管を受託した旅客の物の破壊、滅失、紛失又は毀損の場合に発生する損害については、その損害の原因となった事故又は事件が、その受託手荷物又は物が会社の管理下にあった期間に生じたものであるときは、賠償の責に任じます。
3. 会社は、本条第1項及び第2項の損害について、会社及びその使用人（本章において、使用人とは被用者、代理人、請負人等の履行補助者をいう。）が、その損害を防止するため必要な措置をとったこと又はその措置をとることができなかつたことが証明された場合、賠償の責に任じません。
4. 会社は、持込手荷物その他の旅客が携行し又は装着する物の破壊、滅失、紛失又は毀損の場合に発生する損害については、会社又はその使用人に過失があったことが証明された場合にのみ、賠償の責に任じます。
5. 会社は、法令及び官公署の要求、航空保安上の要求（航空機の不法な奪取、管理又は破壊の行為の防止を含みます。）、悪天候、不可抗力、争議行為、騒擾、動乱、戦争その他の会社のいずれかに生じたやむを得ぬ事由により、予告なく、航空機の運航時刻の変更、欠航、休航、運航の中止、発着地の変更、緊急着陸、旅客の搭乗制限、手荷物の全部又は一部の取卸その他の必要な措置をとることがありますが、当該措置をとったことにより生じた損害については、本条前4項により会社が責任を負う場合を除き、会社は、これを賠償する責に任じません。

第43条 手荷物の固有の欠陥等による免責

会社は、受託手荷物その他の会社が保管を受託した旅客の物の破壊、滅失、紛失又は毀損の場合に発生する損害が、その手荷物又は物の固有の欠陥、品質又は瑕疵の原因のみから生じたものであるときは、賠償の責に任じません。

第44条 過失相殺

会社は、旅客の故意又は過失が、その損害の原因となったこと又は原因に関係していたことを証明したときは、当該故意又は過失がその損害の原因となり又は原因に関係している範囲において、会社のその旅客に対する責任の全部又は一部を免除されます。

第45条 旅客の賠償責任

旅客の故意若しくは過失により又は旅客がこの運送約款及び同約款に基づいて定められた規定を守らないことにより、会社が損害を受けた場合は、当該旅客は、会社に対し損害賠償をしなければなりません。

第46条 会社の責任限度額

1. 手荷物運送における会社の責任は、旅客1名につき総額金 150,000円の額を限度とします。ただし、旅客が運送の開始前に当該手荷物につきそれ以上の価額を申告し、かつ、第40条の規定に従って従価料金を支払った場合は、当該申告価額を会社の責任限度としますが、この場合においても、会社の責任は、当該手荷物の実際の価額を超えることはありません。
2. 前項にいう「手荷物」とは、受託手荷物その他の会社が保管を受託した旅客の物及び持込手荷物その他の旅客が携行し又は装着する物のすべてを含みます。

第47条 手荷物に係る賠償請求期間

1. 旅客が異議を述べないで受託手荷物その他の会社が保管を受託した旅客の物を受け取ったときは、その手荷物又は物は、良好な状態で引き渡されたものと推定します。
2. 受託手荷物その他の会社が保管を受託した旅客の物の損害に関する通知は、受け取った手荷物又は物については、その受取りの日の翌日から起算して7日以内に、引渡しがない場合は、受け取る筈であった日の翌日から起算して21日以内に、それぞれ文書によりしなければなりません。
3. 本条第2項に定める期間内に通知をしなかったときは、会社は賠償の責に任じません。

第48条 責任限度額の不適用

第46条に定める責任の限度は、損害が、会社又はその使用人の故意又は重過失によって生じたことが証明されたときは、適用されません。ただし、使用人の故意又は重過失の場合には、更にその者が自己の職務を遂行中であったことが証明されなければなりません。

第49条 相次運送

1. 会社が、他の運送人の行う運送のために航空券を発行し又は手荷物を受託する場合には、会社は当該運送人の代理人としてのみこれらの行為をします。
2. 二以上の運送人が相次いで行う旅客の運送における損害については、その損害を生ぜしめた運送を行った運送人に対してのみ賠償請求することができます。会社は、会社が行う運送以外で生じた旅客の損害については、責任を負いません。

第50条 運送人の変更

会社の同意の下に運送人を変更し、旅客が会社の航空券で他の運送人の路線に搭乗する場合には、当該運送は、当該他の運送人の運送約款の適用を受け、会社は、当該運送につきいかなる責任も負いません。

第51条 使用人の行為に対する約款の適用

会社の使用人が、自己の職務を遂行中であったことを証明したときは、この運送約款に定める損害につき、その使用人は、この運送約款及び同約款に基づく規定に定められた会社の責任の排除又は制限に関する一切の規定を援用することができます。

附 則

第1条 適用期日

1. この運送約款は2019年10月1日から適用します。
2. 前項の定めにかかわらず、第22条第1項に定める払戻手数料は、2019年10月1日以降に行われる払戻し手続きに適用し、2019年9月30日以前に行われる払戻し手続きには、以下の規定を適用します。

第22条 旅客の都合による払戻しと払戻手数料及び取消手数料

1. 航空券又は航空引換証を旅客の都合により払い戻す場合には、旅行区間の全部について払い戻すときには収受運賃及び料金全額を、一部について払い戻すときは収受運賃及び料金より搭乗区間運賃及び料金を差し引いた差額を払い戻します。

なお、この場合、会社規則に別段の定めのある場合を除き、航空券又は航空引換証の1旅行区間につき430円の払戻手数料を申し受けます。

[CHAPTER I. GENERAL PROVISIONS]

1. DEFINITIONS

In these Conditions of Carriage,

“**Domestic Carriage**” means carriage by air performed by the Carrier, gratuitously or for reward, in respect of which, under a contract of carriage, the place of departure and the destination, or other agreed stopping place(s) are all situated in Japan.

“**Carrier(s)**” means, collectively or individually, as the case may be, All Nippon Airways Co., Ltd. and ANA WINGS Co., Ltd.

“**Carrier’s Office**” means a Carrier’s office (including a city office and an airport office), a local office of a sole agent or agent(s) designated by the Carrier and/or the Carrier’s web page on the Internet.

“**Ticket**” means such form of electronic document as is recorded in the Carrier’s database (hereinafter referred to as an “Electronic Ticket”) or a paper ticket issued by the Carrier’s Office for the carriage of passengers on the Carrier’s domestic lines, pursuant to these Conditions of Carriage.

“**Authentication Code**” means a code that can prove that the passenger has an Electronic Ticket, such as a confirmation number, an ANA Mileage Club Membership Number, a credit card number that was used for payment and/or any other number designated by the Carrier.

“**Exchange Order**” means a document issued by any Carrier’s Office in exchange for which a Ticket shall be issued to the person named therein.

“**Stopover**” means such deliberate interruption of a trip by a passenger, at any point between the place of departure and the destination, as is agreed to in advance by the Carrier.

“**Baggage**” means such articles, effects and other personal property of a passenger that constitute either Checked or Unchecked Baggage, unless otherwise specified.

“**Checked Baggage**” means such Baggage that the Carrier takes custody of and for which it issues a Baggage Identification Tag(the Baggage tag that is attached by the Carrier to a particular article of Checked Baggage and the Baggage claim stub that is given to the passenger).

“**Unchecked Baggage**” means such Baggage other than Checked Baggage that the Carrier has permitted a passenger to carry into the cabin.

“**Baggage Identification Tag**” means a document issued by the Carrier solely for the purpose of identification of Checked Baggage, which consists of two portions: the Baggage tag that is attached by the Carrier to a particular article of Checked Baggage and the Baggage claim stub that is given to the passenger.

“**Excess Baggage Ticket**” means a document issued by the Carrier for carriage of Baggage in excess of the applicable free Baggage allowance specified by the Carrier.

2. APPLICATION OF CONDITIONS

1. These Conditions of Carriage shall apply to the Domestic Carriage of passengers and Baggage, together with any incidental services provided by the Carrier.
2. Carriage of passengers shall be subject to these Conditions of Carriage and any regulations provided for

under such Conditions in effect on the day the passenger boards the aircraft.

3. Should any special agreement be made with respect to a particular provision of these Conditions of Carriage, such special agreement shall apply, notwithstanding the aforementioned provision.

3. CHANGE IN CONDITIONS OF CARRIAGE AND/OR RELEVANT REGULATIONS

These Conditions of Carriage and any regulations established under the Conditions may be changed, modified, or amended without prior notice.

4. PUBLICATION

Passenger fares, Excess Baggage charges, other fees and charges, timetables and other necessary information shall be published together with these Conditions of Carriage at any Carrier's Office.

5. JOINT ACCEPTANCE OF CARRIAGE

1. The Carriers may jointly accept any Domestic Carriage and in such cases, any of the Carriers appointed by the Carrier will perform the carriage.
2. Should a Carrier be held liable for damage with respect to such carriage, the Carriers shall jointly and severally be liable to compensate for such damage.

6. EFFECTIVENESS OF ARRANGEMENTS BETWEEN THE CARRIERS AND PASSENGER

1. A change in date, time, flight, sector, routing, or destination, extension of the period of validity of a Ticket or Exchange Order, cancellation of a confirmed reservation, call for volunteers prepared to surrender their confirmed reservation, arrangement for other means of transportation, refusal of carriage of a passenger or Baggage, change of Carrier and/or other arrangements, and billing, receipt, payment and refund of applicable fares, charges, fees, cooperation reward and/or other monies that are effected between one of the Carriers and the passenger pursuant to the Conditions of Carriage, shall be valid between all the Carriers and the passenger.
2. Any request, notice, presentation of his/her Ticket or Exchange Order, presentation or declaration of his/her Authentication Code, request for a refund for a Ticket or the like made by a passenger to any of the Carriers, shall be deemed to have been made to all Carriers.

7. CONSENT OF PASSENGERS

Passengers shall be deemed to have acknowledged and given consent to these Conditions of Carriage and the rules and regulations established under these Conditions.

8. GOVERNING LAW AND JURISDICTION

1. These Conditions of Carriage shall be construed in accordance with the laws of Japan, and any matter not provided for in these Conditions of Carriage shall be subject to the laws of Japan.
2. Any dispute arising out of, or in connection with, these Conditions of Carriage shall be subject to the jurisdiction of Japanese courts and legal proceedings therefor shall be governed by the laws of Japan,

no matter who is entitled to claim for damages or what the legal basis for such claim is.

9. INSTRUCTIONS OF CARRIER'S AGENT

Passengers shall observe the instructions of the Carriers' agent with respect to boarding, deplaning and/or any other acts at airports or on board, or with respect to places of loading or unloading of the passenger's Baggage.

[CHAPTER II. CARRIAGE OF PASSENGERS]

[SECTION 1. TICKETS]

10. ISSUANCE AND VALIDITY OF TICKETS

1. The Carrier shall issue, at a Carrier's Office, an Electronic Ticket, a paper Ticket or an Exchange Order (hereinafter referred to as the "Issuance of a Ticket") upon receipt of payment by the passenger of such applicable fares and/or charges as separately stipulated by the Carrier. A passenger shall provide the Carrier his/her name, age, sex, and any contact information such as a telephone number that the Carrier may use to communicate with the passenger.
2. A Ticket or Exchange Order may be used only by the passenger who is named on such Ticket or Exchange Order and shall not be transferred to a third party.
3. A Ticket shall be invalid, unless the passenger uses it in accordance with the information prerecorded in the electronic database of the Ticket (or in the case of a paper Ticket, as described on the Ticket) (hereinafter referred to as "Reservations Data").
4. In order for the Carrier to confirm the validity of a Ticket, the passenger will be requested to present or declare his/her Authentication Code, or present his/her paper Ticket or Exchange Order (hereinafter referred to as "Presentation of Authentication Code or Ticket").
5. A passenger must present a valid Authentication Code, Ticket or document stipulated by the Carrier, which is duly issued in accordance with the Carrier's regulations and valid for the flight which he/she is actually to board. When a passenger fails to do so, the Carrier may refuse carriage of such passenger.

11. PERIOD OF VALIDITY

1. A passenger's Ticket that contains in its Reservations Data the flight that the passenger is scheduled to board, shall be valid for that flight exclusively.
2. A passenger's Ticket that does not contain in its Reservations Data the flight that the passenger is scheduled to board, shall be valid on the date of issuance of such Ticket and for 1 year from the following day, unless otherwise provided for by the Carrier, with respect to a Ticket to which the Carrier applies a special fare.
3. The preceding two paragraphs shall apply mutatis mutandis to Exchange Orders. However, an Exchange Order containing in its Reservations Data the flight that the passenger is scheduled to board shall be exchanged for a Ticket for such flight not later than the scheduled boarding day. An Exchange Order that does not contain in its Reservations Data the flight that the passenger is scheduled to board,

shall be exchanged for a Ticket within 90 days, calculated from the day following the date of issuance of such Exchange Order.

4. A passenger's Ticket shall become invalid unless the passenger boards a flight on or before the expiry date of the period of validity of the Ticket.

12. EXTENSION OF VALIDITY

1. If a passenger is prevented from traveling within the period of validity of a Ticket or Exchange Order by reason of his/her illness or for any other reason, or if the Carrier is unable to provide a previously confirmed seat on the flight or make a seat available for reservation within the validity of a Ticket or Exchange Order, the validity of the Ticket may be extended for only 30 days, from the day following the expiry date of the period of validity of the Ticket or Exchange Order originally issued.
2. If the period of validity of a Ticket is extended pursuant to the preceding paragraph, a Ticket or Exchange Order held by any person accompanying the passenger holding the Ticket may likewise be extended.

13. SEAT RESERVATIONS

1. A passenger shall make a seat reservation for a flight in order to board the Carrier's flight.
2. If a passenger makes a seat reservation after the issuance of a Ticket, he/she shall present his/her Authentication Code or Ticket and shall provide necessary information to have them recorded in the Carrier's database (or in the case of a paper Ticket, shall provide the necessary information to have them entered on the face of the Ticket).
3. In order to cancel or change a seat reservation, the passenger shall present his/her Authentication Code or Ticket to the Carrier. The reservation made to a passenger shall be non-transferable.
4. Notwithstanding the preceding two paragraphs, the Carrier may accept, at a Carrier's Office separately designated, an application for a seat reservation or its cancellation, or change in a seat reservation, without the Authentication Code or Ticket being presented.
5. A seat reservation made pursuant to the preceding paragraph shall not be confirmed unless the passenger presents the Authentication Code or Ticket to the Carrier not later than the time limit specified by the Carrier for the purchase of the Ticket. Should the passenger fail to present the Authentication Code or Ticket by such time, the Carrier may cancel the seat reservation and any onward reservations, without prior notice.
6. The Carrier will accept applications for seat reservations, at the earliest, 355 days prior to the scheduled date of the flight at the Carrier's Offices, unless otherwise provided for by the Carrier with respect to a passenger paying a special fare.
7. In cases where paragraph 2 of Article 22 applies, the Carrier may cancel any onward reservations made subsequent to such reservation.
8. The Carrier may, at its own discretion, cancel all of or a portion of a passenger's reservation if two or more seats are reserved for the same passenger and if:

- (1) the reservations are made for the flight or flights of the same sector of which each scheduled time of departure is the same or in proximity to each other;
- (2) it is reasonably considered that the passenger can not use all of reserved seats.

14. SEAT ASSIGNMENT

The Carrier may permit a passenger to reserve a specific seat on a flight in advance, provided that the Carrier may, without prior notice, change such seat due to a change in equipment or any other unavoidable reason related to flight operations.

15. CHECK-IN TIME

1. A passenger shall arrive at the time and place stipulated by the Carrier in order to complete the necessary departure procedures before boarding an aircraft.
2. The Carrier may refuse boarding by a passenger who fails to arrive by the time stipulated by the Carrier, as provided for in the preceding paragraph.
3. The Carrier shall not delay a flight for any passenger who fails to arrive by the time stipulated by the Carrier pursuant to paragraph 1.

16. REFUSAL AND LIMITATION OF CARRIAGE

1. The Carrier may refuse carriage of, or remove at any stopping place, any passenger, (upon such refusal or removal, the Carrier shall make a refund to the passenger pursuant to paragraph 1 of Article 22 and shall not collect cancellation charge) and in such case, handle his/her Baggage accordingly, if the Carrier deems that the passenger falls under any of the following:
 - (1) such action is necessary for flight safety;
 - (2) such action is necessary in order for the Carrier to comply with applicable laws or regulations, or governmental requirements;
 - (3) the passenger, because of his/her conduct, age, mental or physical condition:
 - (a) requires special assistance by the Carrier;
 - (b) is seriously injured or ill, or is an unaccompanied child under the age of eight years;
 - (c) carries any of the items specified below:

weapons (excluding those carried by competent officers on duty), gunpowder, explosives, corrosive items, inflammable items, or other articles which are likely to cause a hazard or risk to the aircraft, passengers, and/or any loaded property, or articles or live animals inappropriate for carriage by aircraft;
 - (d) may cause discomfort or trouble to other passengers;
 - (e) may cause harm to himself/herself or to other passengers or an aircraft or any property;
 - (f) falls under the provisions of paragraph 4 or 5 of Article 29;
 - (g) obstructs any crewmember of the Carrier from performing his/her duties or fails to comply with any instruction of such crewmember;
 - (h) uses a portable telephone, portable radio, electronic game or other electronic device in an

aircraft cabin without the Carrier's permission;

(i) smokes in an aircraft cabin.

In the cases mentioned in sub-paragraph (3)(e) or (g) of this paragraph, the Carrier may take, in addition to the measures mentioned above, such other measures as the Carrier deems necessary to prevent the passenger from continuing such conduct, obstruction or act. These measures shall include, but are not limited to, restraint of the passenger.

2. To ensure assistance in emergency evacuation, the Carrier may prevent a passenger from taking an exit row seat of the aircraft and change his/her seat to another seat (upon which change, if the exit row seat is a special seat, the Carrier shall refund the special fare applied to the seat by the Carrier and shall collect no cancellation charge), if the Carrier determines at its reasonable discretion that the passenger falls under any of the following subparagraphs:

(1) the passenger is under the age of 15

(2) the passenger has any difficulty in assisting in emergency evacuation, or may cause any harm to his/her health if he/she assists in emergency evacuation due to his/her physical condition, health or for other reasons

(3) the passenger can not understand evacuation procedures and crew's instructions

(4) the passenger does not consent to providing assistance in emergency evacuation

17. LOSS OF PAPER TICKET

1. If a passenger loses his/her paper Ticket, the passenger shall be required to purchase a new Ticket for the sector that the lost Ticket covers.

2. If, in the case of the preceding paragraph, the loss of the Ticket is reported to a Carrier's Office (excluding the Carrier's web page) on or before the expiry date of the refund period provided for in Article 23, the Carrier shall issue a refund (upon such refund, the Carrier shall collect the refund charge set forth in paragraph 1 of Article 22) in the manner set forth below, provided that: the lost Ticket is presented on or before the expiry date of the effective period for refund (within three months from the day following the expiry date of the refund period, hereinafter the same); or the Carrier has confirmed as a result of an investigation conducted after the expiry of the effective period for refund that neither the lost Ticket has been used during the effective period set forth in Article 11 nor that a refund has been made by the expiry date of the refund period.

(1) If the passenger has not purchased a replacement Ticket, the Carrier shall refund the fare and relevant charges paid for the lost Ticket: provided, however, that if a cancellation charge set forth in paragraph 2 of Article 22 is applicable, the Carrier shall collect such cancellation charge as well as the prescribed refund charge.

(2) If the passenger has purchased a replacement Ticket, the Carrier shall refund the fare and relevant charges for the replacement Ticket, unless otherwise provided for by the Carrier.

(3) If, in the case of sub-paragraphs (1) or (2) above, the passenger has canceled the portion of trip covered by the lost Ticket, the Carrier shall issue a refund pursuant to the provision of Article 22.

3. The preceding two paragraphs shall apply mutatis mutandis to a lost Exchange Order.

4. If, in the case of the preceding two paragraphs, the Carrier determines to issue a refund as a result of an investigation conducted after the expiry of the effective period for refund, the Carrier shall collect, in addition to the prescribed refund charge and cancellation charge, an investigation fee of 2,060 yen per Ticket flight coupon or Exchange Order coupon and 1,030 yen per charge slip.

[SECTION 2. FARES AND CHARGES]

18. FARES AND CHARGES

1. Fares and charges, conditions of their application and other conditions are shown in the Carrier's passenger tariff table for each type of fares and charges as separately stipulated by the Carrier.
2. Fares shall apply to carriage from the airport at the place of departure to the airport at the destination.
3. Fares and charges shall include consumption tax (including local consumption tax).

19. APPLICABLE FARES AND CHARGES

1. Applicable fares and charges shall, unless otherwise provided in Carrier's regulations, be those in effect as of the date of issue and applicable on the date the passenger is scheduled to board the aircraft.
2. If any fares and/or charges collected by the Carrier are not equivalent to the applicable fares and/or charges, the difference shall be refunded or collected by the Carrier, as the case may be, unless otherwise provided in Carrier's regulations with respect to any passenger paying a special fare and/or charges.

20. CARRIAGE OF INFANTS FREE OF CHARGE

The Carrier will accept carriage free of charge of one non-seat occupying passenger under three years of age (hereinafter referred to as an "Infant"), provided the infant is accompanied by one passenger of twelve years of age or over.

21. CHANGES REQUESTED BY PASSENGER

Of the Reservations Data on a Ticket or any data specified in an Exchange Order (hereinafter referred to as the "Reservations Data of a Ticket or Exchange Order"), any change in the date, time, flight, sector, routing, or destination requested by the passenger shall be effected in accordance with the applicable conditions separately stipulated by the Carrier for each type of fare and charges. For those fares and charges where a change requested by a passenger is permitted, changes shall be effected only when such request is made at a Carrier's Office during its business hours and prior to the scheduled departure time of the original flight, pursuant to the following. Such change, however, is subject to the availability of a seat on the flight that the passenger desires to board. The passenger shall present to the Carrier's Office the Authentication Code or Ticket when requesting for a change.

- (1) The Carrier shall refund, or collect, as the case may be, any difference between the amount of fare and charges applicable to the whole sector affected by the change and the amount of fare and charges

already paid.

- (2) The fare and charges applicable after such change shall, unless otherwise provided in Carrier's regulations, be those which, as of the date of original issue, were intended to apply on the date the passenger desires to board.
- (3) The period of validity of the Ticket for which change is effected shall be the period of validity applicable as of the date on which the Ticket originally purchased was issued.
- (4) No cancellation charge set forth in paragraph 2 of Article 22 shall be collected by the Carrier for the cancellation of a reservation for the original flight due to such change.
- (5) If any charge becomes, or ceases to be, applicable due to the change, the Carrier shall collect, or refund such charge, as the case may be.

22. VOLUNTARY REFUND, AND REFUND/CANCELLATION CHARGES

1. In the case of a refund for a Ticket or an Exchange Order requested by a passenger, the amount of refund shall be: if the entire portion of the itinerary is to be refunded, the total amount of the fare and charges paid; and if a part of the itinerary is to be refunded, an amount equal to the difference between the fare and charges paid, and the fare and charges applicable to the portion of the itinerary for which the Ticket or the Exchange Order has been used.

Upon such refund as prescribed above, unless otherwise specifically provided in Carrier's regulations, the Carrier shall collect from the passenger 440 yen as a refund charge per sector specified in the Ticket or Exchange Order.

2. In the case of a refund for a Ticket or Exchange Order for which a seat has already been reserved pursuant to the provision of the preceding paragraph, a cancellation charge shall be collected in accordance with the Carrier's passenger tariff table for each type of fares and charges as separately stipulated by the Carrier.
3. If the total amount of the fare and charges paid is less than the total amount of the refund charge and cancellation charge payable pursuant to each of the preceding two paragraphs, the total amount of refund and cancellation charge shall not exceed the amount of the fare and charges paid.

23. REFUND PERIOD

Any refund of a fare or charges shall be made in exchange for the surrender of a Ticket or an Exchange Order by not later than 30 days from the day following the expiry date of the period of validity of such Ticket or Exchange Order.

24. INVOLUNTARY CHANGES AND/OR CANCELLATION CAUSED BY CARRIER

1. If the Carrier fails to perform a contract of carriage, in whole or in part, for any reasons other than those requested by a passenger and except for those set forth in paragraph 5 of Article 42 (hereinafter referred to as an "Involuntary Change or Cancellation caused by Carrier"), the Carrier shall, at the passenger's option, follow one of the below (1), (2), or (3) procedures:

- (1) The Carrier will have the option of providing either of the following to carry the passenger and his/her

Baggage to the first destination of the Reservations Data on the Ticket or Exchange Order:

- (a) on a flight of the Carrier on which a seat is available;
- (b) on a flight of any other Carrier on which a seat is available; or
- (c) by other means of transportation.

In the cases set forth above, if an amount of fare and charges after the change of flight or rerouting exceeds the amount that would have been refunded for the applicable fare and charges of the original sector, the Carrier shall not collect the difference. If such amount is less than the amount that would have been refunded, the Carrier shall refund the difference, unless otherwise provided for by the Carrier with respect to a particular Ticket or Exchange Order;

- (2) The Carrier shall issue a refund as follows: before commencement of travel - the full amount of fare and charges collected by the Carrier; after commencement of travel - the applicable fare and charges from the point of cancellation to the destination (or the scheduled stopover place) specified in the Reservations Data of the Ticket or Exchange Order as separately stipulated by the Carrier; or
 - (3) The Carrier shall extend the period of validity of the unused sector of the Ticket.
2. If the number of passengers (only those who have presented his/her Authentication Code, Ticket or the like, with confirmed reservation, for check-in at a Carrier's airport office by the time stipulated by the Carrier) with valid seat reservations on a flight exceeds the number of available seats on the flight and therefore seats are not available to some passengers, the Carrier shall call for volunteers prepared to surrender their confirmed reservations. In such cases, the Carrier shall make a certain amount of payment stipulated by the Carrier to those volunteers who surrendered their confirmed reservations as a cooperation reward, in addition to any arrangements set forth in paragraph 1 of this Article.

25. CANCELLATION OR CHANGES FOR REASONS OTHER THAN THOSE CAUSED BY CARRIER OR REQUESTED BY PASSENGER

If the Carrier fails to perform a Contract of Carriage, in whole or in part, due to any reasons set forth in paragraph 5 of Article 42, the Carrier shall take any of the steps set forth below at the option of the passenger:

- (1) If travel has not yet commenced, the Carrier shall perform carriage of the passenger and his/her Baggage on a flight on which seats are available, to the initial destination specified in the Reservations Data of the Ticket or Exchange Order.

If the destination specified in the Reservations Data of the Ticket or the Exchange Order changes after commencement of the flight, the Carrier shall arrange for carriage to the initial destination specified in the Reservations Data of the Ticket or the Exchange Order for the passenger and his/her Baggage by any of the following means of transportation at the option of the Carrier:

- (a) on a flight of the Carrier on which a seat is available;
- (b) on a flight of another carrier on which a seat is available; or
- (c) by other means of transportation.

In the cases set forth above, if an amount of fare and charges after the change of flight or rerouting exceeds the amount that would have been refunded for the applicable fare and charges of the original

sector, the Carrier shall not collect the difference. If such amount is less than the amount that would have been refunded, the Carrier shall refund the difference.

- (2) The Carrier shall issue a refund as follows: before commencement of travel - the full amount of the fare and charges collected by the Carrier; after commencement of travel - the applicable fare and charges from the point of cancellation to the destination (or the scheduled stopover place) specified in the Reservations Data of the Ticket or Exchange Order as separately stipulated by the Carrier; or
- (3) The Carrier shall extend the period of validity of the unused sector.

26. FRAUDULENT BOARDING

Any of the acts set forth below shall constitute fraudulent boarding and shall be subject to a charge of double the amount of the highest fare and charges applicable at the time of such fraudulent boarding, in addition to the fare and charges applicable to the passenger for the flight flown under fraudulent boarding, provided that if the sector flown cannot be ascertained, the fare and charges shall be calculated from the place of departure of the flight:

- (1) Failure to present an Authentication Code or Ticket at the request of the Carrier's personnel in charge, or to board beyond the sector specified in the Reservations Data of the Ticket or the Exchange Order without approval from the Carrier's agent;
- (2) To board a flight intentionally with an invalid Ticket; or
- (3) To board a flight at a special fare on the basis of a false declaration.

[SECTION 3. BAGGAGE]

27. CHECKED AND UNCHECKED BAGGAGE

1. The Carrier shall, upon presentation by a passenger of a valid Authentication Code or a Ticket, accept as Checked Baggage or acknowledge as Unchecked Baggage, the Baggage tendered by the passenger at the Carrier's airport office by the time stipulated by the Carrier.
2. In addition to the preceding paragraph, upon request by a passenger who is scheduled to transfer to a connecting flight of any other carrier (only if the Carrier has entered into a contract regarding carriage of Baggage with such other carrier) departing from the destination of the Carrier's flight, the Carrier shall accept Baggage tendered by the passenger as Checked Baggage for the carriage on the connecting flight of another carrier, if the passenger presents a valid Authentication Code or a Ticket for the Carrier's flight as well as a valid Authentication Code or a Ticket for the connecting flight of another carrier at the Carrier's airport office by the time stipulated by the Carrier .

In this case, the Carrier shall accept Baggage as Checked Baggage with the consent of the passenger as an agent of another carrier, pursuant to the conditions of carriage of such other carrier. The Carrier shall not deliver the Checked Baggage to the passenger at the destination airport of the Carrier's flight.

3. The Carrier shall issue a Baggage Identification Tag for the Checked Baggage.

28. LOADING OF CHECKED BAGGAGE

The Carrier shall carry the Checked Baggage of a passenger in the same flight as the passenger, provided that the Carrier may, if such carriage is deemed impractical by the Carrier because of the maximum permissible weight or for other reasons, carry the Checked Baggage on any other flight or by any other transportation service on which the Checked Baggage can be loaded.

29. SECURITY INSPECTION

1. A passenger shall submit to any security check required by the Carrier, unless it is specifically deemed unnecessary by the Carrier.
2. The Carrier will inspect the contents of a passenger's Baggage by opening it and/or by any other means in the presence of the passenger or a third person, for the purpose of security (including, but not limited to, the prevention of unlawful seizure, control or destruction of an aircraft) or for any other reasons. Notwithstanding the foregoing, the Carrier may inspect the passenger's Baggage in his/her or a third person's absence to see whether he/she is in possession of, or his/her Baggage contains, any items prohibited or restricted under Article 33.
3. The Carrier will search any items worn or carried by a passenger by touching the passenger over his/her clothes or worn items or by using any instruments such as a metal detector, for the purpose of security (including, but not limited to, the prevention of unlawful seizure, control or destruction of an aircraft) or for any other reasons.
4. If a passenger refuses the Carrier's inspection referred to in paragraph 2, the Carrier will refuse to load such Baggage.
5. If a passenger refuses the Carrier's inspection referred to in paragraph 3, the Carrier will refuse to board such passenger.
6. If, as a result of the inspection or search set forth in the preceding paragraphs 2 and 3, the Carrier discovers any items of which is prohibited or restricted Baggage under Article 33, the Carrier may forbid the passenger to carry it into the cabin or refuse to load such items, or may take measures for the disposal of such items.

30. DELIVERY OF CHECKED BAGGAGE

1. A passenger shall claim and receive his/her Baggage as soon as reasonably possible after it becomes receivable and check the Baggage Identification Tag at the Destination.
2. The bearer of the Baggage Identification Tag(s) issued to a passenger when his/her Baggage is checked shall be exclusively entitled to accept delivery of the checked Baggage. A passenger should submit his/her Baggage claim stub(s) to the Carrier.
3. In the event that the passenger receive his/her Baggage pursuant to sub-paragraph 1 and 2,
The Carrier shall not be obligated to verify that the bearer of a Baggage Identification Tag(s) is truly entitled to accept delivery of the Baggage.
The Carrier shall not be liable for any damage arising out of or in connection with its failure to verify.
4. Checked Baggage shall be delivered to the passenger only at the destination specified on the Baggage

Identification Tag, provided that if the passenger so requests, Checked Baggage shall be delivered at the place of departure or a stopping place insofar as circumstances permit such delivery.

31. LOSS OF BAGGAGE IDENTIFICATION TAG

Should a passenger lose his/her Baggage Identification Tag, the Carrier may deliver the Baggage to the passenger in accordance with a procedure separately provided for by the Carrier, only if the Carrier deems the person claiming delivery of Checked Baggage to be duly entitled to such delivery and if the Carrier receives a commitment from such person to indemnify and hold harmless the Carrier from any loss or damage that the Carrier may incur as a result of the delivery of Checked Baggage to such person.

32. DISPOSAL OF UNDELIVERABLE BAGGAGE

Checked Baggage that remains unclaimed for 7 days, calculated from the day following the date of its arrival at the destination, may be disposed of by the Carrier as appropriate. In this case, the passenger shall be liable for any damage or expenses incurred by the Carrier in connection with such disposal.

33. PROHIBITED OR RESTRICTED BAGGAGE

1. The Carrier shall refuse to accept any of the following as Checked Baggage and Unchecked Baggage, unless specifically permitted by the Carrier:
 - (1) items that may endanger or cause trouble to the aircraft or any person or property on board;
 - (2) firearms, swords and other similar items, and explosives and other ignitable or flammable items;
 - (3) corrosive chemicals and liquids not contained in a suitable container;
 - (4) live animals;
 - (5) dead body;
 - (6) items that are prohibited by applicable laws or regulations, or by governmental requirements, from being loaded into, or transferred by, aircraft;
 - (7) items that exceed the number of pieces, weight or dimensions separately specified by the Carrier;
 - (8) items that are not properly packed or packaged;
 - (9) items that are easily transmuted, wasted or destroyed;
 - (10) other items which the Carrier considers unsuitable for carriage on an aircraft.
2. The Carrier shall refuse to accept any of the following as Unchecked Baggage:
 - (1) cutting tools;
 - (2) items similar in shape to firearms, swords, and explosives (e.g. pistol-shaped lighters, hand grenade-shaped lighters);
 - (3) other items the Carrier considers as potential weapons (e.g. bats, golf clubs, ice skates).

34. VALUABLES

Platinum, gold and other precious metals, currency, bank notes, negotiable securities, documentary

stamps, jewelry, art works, antiques and other high-value items shall not be accepted as Checked Baggage.

35. CHECKED BAGGAGE

1. Baggage that a passenger may check shall satisfy all of the following conditions;
 - (1) the total weight shall not exceed 100 kilograms;
 - (2) the weight of each piece shall not exceed 32 kilograms; and
 - (3) the three dimensions of each piece shall not exceed 203 centimeters, and shall be of the dimensions that can be stowed in a cargo compartment.
2. The Carrier shall permit a passenger to check Baggage which exceed the limitations preceding (2) and (3), only if a prior due notice of such Baggage is given to, and a prior permission to such Carriage is granted by, the Carrier. For the Baggage exceeding the free Baggage allowance as described in Article 37, the Carrier shall collect excess Baggage charges as separately stipulated by the Carrier.

36. UNCHECKED BAGGAGE

1. Baggage that a passenger may carry into the cabin shall satisfy all of the following conditions;
 - (1) not more than one piece;
 - (2) the total weight shall not exceed 10 kilograms; and
 - (3) the total dimensions shall not exceed 115 centimeters (not exceeding 100 centimeters in the case of the aircraft which has seating capacity of less than 100.) and shall be of the size that can be stowed in an enclosed storage compartment in the cabin or under the seat in front of the passenger;
 - (4) when specifically permitted by the Carrier, in which case the preceding three paragraphs shall not apply.
2. In addition to the Baggage set forth in the preceding paragraph, each passenger may carry in the cabin as his/her personal belongings any article complying with the following conditions:
 - (1) the personal belongings which the passenger carries and retains as permitted by Carrier's regulations, subject to the provisions of sub-paragraph (3) of the preceding paragraph. More than one article may be carried into the cabin, provided that the total weight of the Baggage under the preceding paragraph and these personal belongings do not exceed 10 kilograms.
 - (2) The articles listed below may be carried into the cabin, even if the weight and/or the dimensions exceed the limitations set forth in sub-paragraphs (2) and (3) of the preceding paragraph:
 - (a) one coat;
 - (b) one umbrella or a walking stick;
 - (c) a pair of crutches and prosthetic hand or leg, braces or other prosthetic device for a physically disabled passenger's own use;
 - (d) an eye-assistance, service or hearing-assistance dog accompanying a passenger with a disability to assist such passenger;
3. The Carrier shall not accept carriage of any articles other than those set forth in the preceding paragraph

1 and 2 of this Article as Unchecked Baggage , but the Carrier will permit a passenger to carry into the cabin articles not suitable for Carriage in a cargo compartment (such as fragile musical instruments) only if a prior due notice of such article is given to, and a prior permission to such Carriage is granted by the Carrier. Carriage of such Baggage shall be subject to a charge provided in the Carrier's regulations.

4. Notwithstanding the preceding paragraph 1 and 2 of this Article, a passenger shall not carry into the cabin any Baggage which Carrier deems cannot be stowed in safety in the cabin.

37. FREE BAGGAGE ALLOWANCE

1. Unless otherwise specifically provided in Carrier's regulations, the total free Baggage allowance of Checked and Unchecked Baggage for each passenger shall be as follows.
 - (1) a passenger paying a premium class fare shall receive a free Checked Baggage allowance of 40 kilograms.
 - (2) a passenger paying an economy class fare shall receive a free Checked Baggage allowance of 20 kilograms.
 - (3) in addition to the preceding (1)and (2), a passenger shall receive a free Baggage allowance of Unchecked Baggage as described in paragraph 1 and 2 of Article 36.
2. The free Baggage allowance prescribed in the preceding paragraph shall not be applicable to non-seat occupying infant under the age of three, his/her Baggage may be deemed as that of the passenger accompanying him/her.
3. Overweight baggage in excess of the free Baggage allowance set forth in paragraph 1 of this Article shall be subject to the applicable excess Baggage charge separately stipulated by the Carrier.
4. In the event that two or more passengers traveling on the same flight check their Baggage at the same time to be carried by the Carrier to the same place, the Carrier may, upon those passenger's request, provide them collectively with a free Baggage allowance equal to the aggregated individual free Baggage allowance in respect of weight.
5. The Carrier will accept as checked baggage the following items for free and not include them into the free Baggage allowance:
 - (1) a fully collapsible stroller/pushchair, carrying basket and/or a car seat for infants or children passenger's own use;
 - (2) wheelchair and other similar assistive devices for disabled passenger's own use;
 - (3) an eye-assistance, service or hearing-assistance dog accompanying a passenger with a disability to assist such passenger.

38. PETS

1. The Carrier shall accept the carriage of pets accompanied by a passenger as Checked Baggage. The term "pets" used herein means domesticated small dogs, cats, birds, etc.
2. The free Baggage allowance set forth in Article 37 shall not apply to the pets specified in the preceding paragraph. The passenger shall pay the Carrier a charge as separately stipulated by the Carrier.

39. REFUND OF EXCESS BAGGAGE CHARGES AND CHARGES FOR PETS

1. If a passenger cancels carriage of his/her Baggage by not later than 20 minutes prior to the scheduled departure time, the full amount of the excess Baggage charges and/or charges for pets paid in connection with the canceled carriage shall be refunded.
2. If a passenger cancels the carriage of his/her Baggage after the time set forth in the preceding paragraph, or a passenger requests to cancel such carriage in the course of carriage, the Carrier shall not refund the excess Baggage charges and/or charges for pets paid for the onward portion of the carriage that has not been flown, except when the Carrier fails to perform the contract of carriage, in whole or in part, for any reasons caused by the Carrier.

40. EXCESS VALUE CHARGES

If the total value of the Baggage of a passenger and his/her personal belongings exceeds 150,000 yen, the passenger may declare such value. Upon such declaration, excess value charge at the rate of 10 yen for each 10,000 yen, or any fraction thereof, in excess of 150,000 yen shall be payable by the passenger.

41. REFUND OF EXCESS VALUE CHARGES

1. If a passenger requests to cancel his/her whole journey, the Carrier shall refund the excess value charges collected by the Carrier in connection with such canceled journey.
2. If a passenger requests to cancel a portion of his/her journey, the Carrier shall not refund any excess value charges, except where the Carrier fails to perform the contract of carriage, in whole or in part, for any reason caused by the Carrier.

[SECTION 4. LIABILITY]

42. LIABILITY OF CARRIER

1. The Carrier shall be liable for any loss or damage arising in connection with the death or wounding of, or any other bodily injury suffered by, a passenger, if the incident or accident which causes such loss or damage takes place on board an aircraft or in the course of embarking or disembarking an aircraft.
2. The Carrier shall be liable for any loss or damage arising in connection with the destruction or loss of, or damage to, any Checked Baggage or any other article of a passenger of which the Carrier takes custody, if an incident or accident which causes such loss or damage, takes place while such Baggage or article is in the custody of the Carrier.
3. The Carrier shall not be liable for such loss or damage as provided for in paragraphs 1 and 2 of this article, if it is proved that the Carrier and/or its Agent(s) have taken necessary measures to avoid such loss or damage or that the Carrier and/or its Agent(s) were prevented from taking such measures. The term "Agent(s)" as used in this chapter means any employee, representative, agent or contractor of the Carrier who assists in the performance of the contract of carriage.
4. The Carrier shall be liable for loss or damage arising out of or in connection with the destruction or loss

of, or damage to Unchecked Baggage or any other article carried or worn by a passenger only if it is proved that such destruction, loss or damage was caused by the negligence of the Carrier and/or its Agent(s).

5. The Carrier may, without notice, change the scheduled time of, or cancel, suspend or terminate any flight; change places of departure and/or destination; make emergency landing; limit the number of passengers on board; unload all or part of loaded Baggage; or take any other necessary measures, for any reason beyond the Carrier's control, such as laws or regulations, governmental requirements, security requirements (including, but not limited to, prevention of unlawful seizure, control or destruction of an aircraft), adverse weather, force majeure, labor dispute actions, riots, civil commotions and wars; and the Carrier shall not be liable for any damage arising as a result of taking such measures, unless the Carrier is held liable for such damage pursuant to the preceding four paragraphs in this article.

43. INDEMNITY DUE TO INHERENT DEFECTS IN BAGGAGE

The Carrier shall not be liable for any loss or damage arising in connection with destruction or loss of, or damage to any Checked Baggage or any other article of a passenger that the Carrier takes custody of, if such damage is caused solely by any inherent defect, inadequate quality or flaw in the Baggage or the article.

44. CONTRIBUTORY NEGLIGENCE

If the Carrier proves that any damage has been caused by or caused in connection with the willful misconduct or negligence of a passenger, the Carrier shall be exempted from liability to the passenger, in whole or in part, to the extent that such willful misconduct or negligence has caused or contributed to the damage.

45. PASSENGER'S LIABILITY TO CARRIER

If the Carrier is incurred any damage caused by a passenger's willful misconduct or negligence, or by his/her failure to observe these Conditions of Carriage or any rules or regulations stipulated thereunder, the passenger shall indemnify the Carrier for such damage.

46. LIMITATION OF LIABILITY OF CARRIER

1. The Carrier's liability for the carriage of Baggage shall be limited to 150,000 yen per passenger, provided that if the passenger declares a value higher than the amount for the Baggage before the commencement of the carriage and an excess value charge is paid pursuant to the provisions of Article 40, the liability of the Carrier shall be limited to an amount equivalent to such declared value but shall not, under any circumstances, exceed the actual value of the Baggage.
2. The term "Baggage" as used in the preceding paragraph shall include Checked Baggage, any other article of a passenger that is placed in the Carrier's custody, Unchecked Baggage and any other article carried or worn by the passenger.

47. TIME LIMITATIONS ON CLAIMS AND ACTIONS FOR BAGGAGE

1. Acceptance by a passenger with no complaint of his/her Checked Baggage or any other article that the Carrier takes custody of shall be *prima facie* evidence that it has been delivered in good condition.
2. Any notice of complaint pertaining to damage to Checked Baggage or any other article of a passenger that the Carrier has taken custody of, shall be provided to the Carrier in writing and, if such Baggage or article has been received by the passenger, within 7 days from the day after such receipt or, if it has not been delivered to the passenger, within 21 days from the next day on which they should have been received by the passenger.
3. The Carrier shall not be liable for any damage unless a complaint is filed within the time specified in paragraph 2 of this article.

48. EXCEPTION TO LIMITATION OF LIABILITY

The limitation of liability provided for in Article 46 of these Conditions of Carriage shall not be applicable if it is proved that the damage has been caused by the willful misconduct or gross negligence of the Carrier and/or its Agent(s), provided that if such damage is caused by willful misconduct or gross negligence of the Agent(s), it shall also be proved that the damage occurred while the Agent(s) was (were) performing his/her (their) duties.

49. SUCCESSIVE CARRIAGE

1. If the Carrier issues a Ticket or accepts Baggage as Checked Baggage for carriage of any other carrier, the Carrier shall do so only as an agent acting on behalf of such other carrier.
2. If the carriage of a passenger is performed successively by more than one carrier, any claim for damage arising from such carriage may be made only against the carrier that performed the carriage that caused the damage. The Carrier shall not, under any circumstances, be liable for any damage to a passenger if the same has arisen from carriage by any other carrier.

50. CHANGE OF CARRIER

If a passenger holding a Ticket issued by the Carrier changes to another carrier with the consent of the Carrier and boards a flight of such other carrier with the same Ticket, the carriage shall be subject to the conditions of carriage of such other carrier and the Carrier shall bear no responsibility for such carriage.

51. APPLICABILITY OF THESE CONDITIONS OF CARRIAGE TO CARRIER'S AGENT

If it is proved by an Agent of the Carrier that he/she was performing his/her own duties when any damage as set forth in these Conditions of Carriage occurred, the Carrier's Agent may apply to such damage any and all provisions pertaining to exclusion or limitation of liability of the Carrier in these Conditions of Carriage and any rules and regulations under these Conditions.

SUPPLEMENTARY PROVISIONS

1. DATE OF EFFECTIVENESS

1. These Conditions of Carriage shall come into effect as of October 1, 2019.
2. Notwithstanding the preceding paragraph, the refund charge referred in paragraph 1 of Article 22 shall apply to refunds carried out on and after October 1, 2019; for refunds carried out on and before September 30, 2019, the following provision shall apply.

22. VOLUNTARY REFUND, AND REFUND/CANCELLATION CHARGES

1. In the case of a refund for a Ticket or an Exchange Order requested by a passenger, the amount of refund shall be: if the entire portion of the itinerary is to be refunded, the total amount of the fare and charges paid; and if a part of the itinerary is to be refunded, an amount equal to the difference between the fare and charges paid, and the fare and charges applicable to the portion of the itinerary for which the Ticket or the Exchange Order has been used.

Upon such refund as prescribed above, unless otherwise specifically provided in Carrier's regulations, the Carrier shall collect from the passenger 430 yen as a refund charge per sector specified in the Ticket or Exchange Order.